

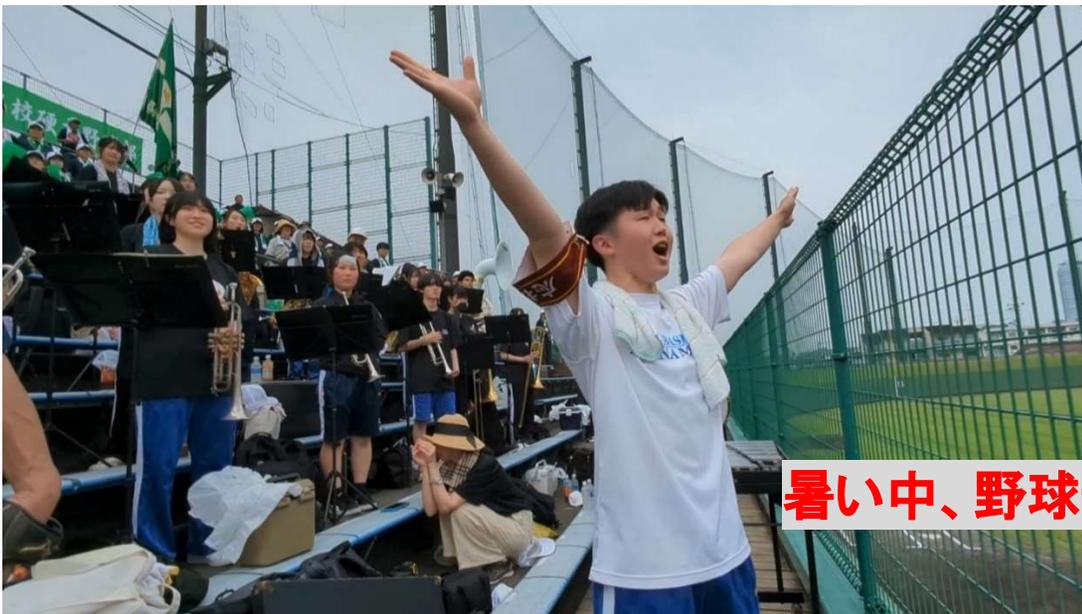
～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2025/07/15

有志による「野球応援」

前南一心

今年度も生徒が企画・提案した「有志による野球応援」が実現！約60名の有志が応援団を結成し、吹奏楽部とともに7月7日(月)高崎城南球場でおこなわれた高崎商業高校戦に駆けつけました。昨年度の反省を活かし、今年度は放課後2日間吹奏楽部と合同で応援練習をおこない、前南創立50周年ということで久しく歌われていなかった応援歌「闘魂」を復活させるなど新たな試みが生徒主導でおこなわれました。試合は残念ながら敗れてしまいましたが、全員声をからして最後まで応援し続けました。応援練習の成果もあり、「これまでで一番の応援！まとまりがあって声が出ていた！」ようです。



暑い中、野球部のために！「前南一心！」

試合前の円陣



応援に行った生徒の声を紹介します！

高校野球の応援に行き、チーム一丸となって戦う姿や、最後まで諦めない姿に感動しました。応援席では、みんなで応援歌を歌ったりメガホンを使って盛り上げ、選手たちにたくさん声援を送りました。暑さ対策として、帽子をかぶったり、こまめに水分をとったり、手持ち扇風機を使ったりするなど、よりよい野球応援をするために熱中症予防にも気をつけました。応援の力が選手たちの力になると感じ、これからも全力で応援したいと思います。(3年 松田はなね)

私は今回吹奏楽部として野球応援に参加させていただきました。本番前から有志と応援の練習をして、万全の体制で本番に臨みました。去年と同様に暑い中でしたが、野球部のために、吹奏楽部、有志一丸となって応援できました。結果としては1回戦敗退となってしまいましたが、相手校にも負けないうくらい気合を入れて応援ができました。野球部のためにチーム一丸となって応援できたのは私の大切な思い出です。(2年 近藤和歩)



今回の野球部応援には、企画の段階から携わらせていただきました。昨年は参加するだけでしたが、今年は裏方の努力を知ることができ、とても貴重な経験となりました。試合の組み合わせが決まってからは一気に忙しくなり、教頭先生や校長先生にプレゼンを行う機会もありました。先生方のご協力のおかげで、無事に野球部応援を実施することができ、本当に良かったです。また、今年は吹奏楽部の皆さんと合同で応援練習を行うことができ、昨年以上に一体感のある応援になったと思います。当日は、有志の皆さんが楽しそうに全力で応援する姿を見ることができ、企画して本当に良かったと感じました。来年もぜひこの応援を続けていけることを願っています。(2年 平沢拓夢)

「有志による野球応援」企画・提案→実現までの流れ

6月19日（木）昼休み 生徒による管理職への企画プレゼン@校長室

7月1日（火）昼休み 希望者集合・・・生徒会、有志含めて約60名が集まる→

7月1日（火）3日（木）放課後 吹奏楽部との合同練習実施【下写真】



7月7日（月）早朝 7:30 学校を出発



9:00 プレイボール



応援の力には、無限の可能性がある。

今回の野球部応援を通して、私はそのことを心から実感しました。結果は悔しいものですが、不思議と「残念だった」という思いはありません。むしろ、試合の中にあふれていた野球部の皆さんの努力の跡や、仲間と共に歩んできた日々を感じることができたことに、何よりも価値があると感じています。

今回の野球部応援では、昨年度の反省点を改善するだけでなく、新たな挑戦にも取り組みました。現状で満足せず、さらにより良いものにするために試行錯誤することの大切さを改めて実感できる良い経験となりました。

そして、野球部の皆さんがどんなに苦しい状況でも決して諦めず、最後の瞬間まで粘り抜く姿に、私は心を動かされました。その姿勢こそが、私たちの「応援したい」という純粋な想いを呼び起こしてくれたのだと思います。

声を枯らし、汗だくになりながら応援した時間は、私たち自身も野球部の皆さんと一緒に戦っていたと感じられる瞬間でした。あの一体感は、忘れられない思い出となっています。野球部応援を無事にやり遂げられたのは、吹奏楽部の皆さん、有志の仲間たち、野球部の保護者会の皆様、引率して下さった先生方のおかげです。本当にありがとうございました！！そして野球部の皆さん、私たちに全力の応援をさせてくれて本当にありがとう。皆さんと一緒に戦ったあの時間は最高の思い出です！！（3年 腰高紗依）

試合終了後、野球部からお礼のあいさつ



【編集後記】今回の企画、生徒の感想を読むとキーワードは「応援の力」「一体感」「応援歌復活」「一丸」「全力」「感動」「感謝」でしょうか。生徒代表のプレゼンはただ騒ぎたいというのではなく、前南の一体感をもっと出したい！応援でバックアップしたい！という提案でした。生徒一人一人が自覚を持って熱中症対策を行い、熱い声援を送ってくれました。（教頭 長岡将之）

★校長より★ 生徒会からのプレゼンを受けたとき、「野球部をバックアップしたい」、「前南を盛り上げたい」という年度を超えた「思い」がありました。そして、それを叶えるために課題と考えていたことを振り返り、新しい取り組みを組み込むことという変化がありました。この、「変化」がSAHにおいてとても大切なことだと考えています。今回、プレーをする選手と、スタンドでの応援が一体化した素晴らしい取組になりました。野球部の皆さん、応援に参加したみなさん、本当にお疲れ様でした。（校長 原 拓史）

